○これまでの経緯と今年度の業務目的について

1. これまでの経緯

海津市地域公共交通会議では、平成27年7月に「海津市地域公共交通網形成計画」（計画期間：平成27年～令和元年度）を策定。平成29年に計画改定を行いました。

公共交通会議とは

地域公共交通会議は、法律に基づき、地域における需要に応じた適切なバス等の旅客輸送の態様や運賃・料金に関する事項など、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するために設置された会議です。

会議で協議する主な内容としては、以下のものが挙げられます。

- ・地域公共交通網計画の策定と実施策の検討
- ・地域の交通ネットワーク全体の維持・発展
- ・地域にとって必要な路線の運行形態、運賃及び料金、運行時刻などの検討

地域公共交通網形成計画策定後、会議においてバス路線の廃止やコミュニティバスの運行見直しを行ってきました。

【主な内容】

- ・平成28年10月：各路線のダイヤ変更、海津羽島線の石津南までの延伸
デマンド交通の料金1乗車300円に統一
- ・平成29年4月：木曾三川公園線を廃止
- ・平成29年10月：お千代保稲荷線 第3便の岐阜羽島駅までの延伸
- ・平成30年10月：各路線のダイヤ変更
- ・平成31年4月：各路線のダイヤ変更、海津羽島線、南幹線の石津小学校口までの延伸
- ・必要に応じて、デマンド交通の停留所を追加、移設、廃止

2. 今年度の業務目的

平成27年に策定した計画が本年度で期間が終了するため、新たに令和2年度から8年度までの「海津市地域公共交通網形成計画」を策定します。

網形成計画とは

網形成計画は「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン（ビジョン+事業体系を記載するもの）」としての役割を果たすものです。計画では地域全体の公共交通を「ネットワーク」として総合的にとらえ、地域全体のネットワークの在り方について、鉄道・バスなどを一体とし検討し、各地域で活用できる公共交通機関全体の連携を強めたり、効率性を高めるための方針や目標を設定したりします。

【主な内容】

- ・今回策定する「海津市地域公共交通網形成計画」の計画期間は令和2年度から8年度までとします。

(理由)

今回計画を策定する際に、まちづくりと連携した面的な公共交通ネットワークを再構築していく必要があり、上位計画である「海津市第2次総合計画」や「養老線交通圏地域公共交通網形成計画」の計画期間が令和8年度までであることから、これらの計画と整合性を図るために計画期間を合わせます。

- ・現状を把握するために、市民アンケートや意見交換会を実施
- ・アンケート結果、意見交換会での意見を踏まえ、現状や問題点を整理し、課題の整理を行う
- ・上位計画・関連計画との連携の整理
- ・地域の課題を踏まえた方針・目標の設定
- ・望ましいネットワークの在り方を検討

課題解決のための事業の検討、ダイヤの見直し、料金体系など具体的な内容については、計画策定後（来年度以降）、協議していくことになります。